

平成23年度 学校経営の改革方針

三重県立いなべ総合学園高等学校

I 目指す学校像(基本理念)

- 1 学習活動や部活動を通じて自主自律の精神と豊かな人間性を育てます。
- 2 総合学科の特性を生かして生徒一人ひとりの能力を伸張し、自己実現を図ります。
- 3 地域に貢献し、地域の人々に信頼される学校を目指します。

II 現状と課題

- 1 北勢地域唯一の総合学科高校として11年目を迎え、進学も就職もできる学校としてそれぞれ100名以上の第一希望実現というめざましい成果を上げています。これらの成果を踏まえて本校独自の学びのシステムについて検証し、新学習指導要領の実施にあわせて、新しい教育課程の編成をとおして一段の飛躍を目指す必要があります。
- 2 多様な個性や進路希望を持つ生徒に対応するため170科目以上の講座を開設しています。授業や課外指導を通じてきめ細かい学習指導を行い、大学進学や資格取得に成果を上げていますが、さらに生徒の学力向上と定着のため、授業研究・改善の取り組みが必要です。また、生徒の学習習慣の確立および学習意欲の向上が大きな課題となっており、引き続き着実な取り組みが求められています。
- 3 「産業社会と人間」「I V Yタイム」の時間を中心にキャリア教育を体系的におこない、生徒自らが主体的に進路選択を行えるよう指導している結果が、生徒の進路実現につながっています。厳しい就職環境など社会情勢や環境の変化に対応できるよう、進路指導部を中心として学校全体で情報の共有化とガイダンス機能の強化を図り、進路に対する意識を育て、すべての面で個々の生徒を支援する体制を確立する必要があります。
- 4 明るく穏やかで、挨拶の交わせる生徒が多いことは本校の特長ですが、一方で、基本的な生活習慣や規範意識が十分に育っていない生徒も見受けられます。これらの生徒に対しては、保護者・地域との連携のもと、全職員で粘り強く指導する必要があります。また、人権尊重の意識を育てるため、幅広い分野で積極的に人権教育を進める必要があります。
- 5 生徒の健全育成と学校活性化のため、部活動は大きな役割を果たしています。恵まれた設備のもとで、いくつかの運動部では県大会や東海大会をはじめ、インターハイや国体などの全国大会にも出場して活躍しています。文化部もそれぞれ目的を持って活発に活動し、地域貢献や奉仕活動も行っています。さらに活性化するためには、部活動加入率を向上させるとともに、活動形態の多様化なども検討していくことが課題です。
- 6 地域に開かれた学校として、PTAや地域住民向けの公開講座を積極的に開催し、地域の生涯学習の拠点としての役割を果たしています。授業公開など今後とも幅広い活動を通じて地域の期待に応えていく必要があります。

Ⅲ 中長期的な重点目標

- 1 多様な個性や進路希望を持つ生徒一人一人の自己実現のために、総合学科の特性を生かしたきめ細かい学習指導を行い、生徒の学習習慣の確立と学力・資格取得の向上に向けて着実な取り組みを行う。
- 2 生徒一人一人の基本的な生活習慣や規範意識のより一層の確立を目指して、保護者・地域との連携のもと、全職員で粘り強く指導を実施していく。
- 3 生徒の健全育成にむけて、運動部・文化部・生徒会活動の一層の活性化を図るとともに、自ら主体的で健康な生活ができる力やものを大切にする心の育成をはかる。
- 4 北勢地域唯一の総合学科高校として、新学習指導要領に合わせた新しい教育課程の編成のもと一段の飛躍を目指すとともに、学校経営の改善を通じて組織力の向上に努め、常に地域に開かれた学校として、公開講座など積極的に地域の生涯学習の拠点としての役割を果たす。

Ⅳ本年度の行動計画

《 指導指針 「時を守り、場を清め、礼を正す」 》

1. 学習指導

- 学習習慣を身につけさせ、生徒の学習意欲を高めます。
 - ・授業規律の確立を図り日々の授業を大切にするとともに、定期考査や実力テストにむけて計画的に学習できるように指導する。
 - ・家庭学習の確立に努めるとともに、学習意欲を高める雰囲気作りに努める。
 - ・個々の生徒に合わせた指導の工夫に努め、学力や進路希望に応じた課外授業、補習と面談の充実を図る。
 - ・課外授業・小論文対策・就職試験対策・入試問題演習などを進路指導部と年次進路係とが連携して実施する。
- 模擬試験をはじめ各種検定試験の受検や資格取得をさらに奨励します。
 - ・「産業社会と人間」や「IVY タイム」の時間等を活用して漢字検定、英語検定等の指導充実を図る。また、模擬試験の受験者数の増加を図る。
- 教員の資質向上を目指します。
 - ・各教科で研究授業や教材の開発を進め、授業の質の向上を目指す。
 - ・平成24年度実施の新カリキュラムを完成させる。
- 図書館の有効利用を図ります。
 - ・図書貸出冊数の増加を図るとともに、「調べ学習の場」として図書館活用の機会を増やす。

2. 進路指導

- 生徒一人ひとりの進路意識の高揚に努めます。
 - ・生徒個々の希望と能力・適正に合わせ、各自の進路を真剣に考えさせる指導の工夫を目指す。
 - ・IVY タイムの有効活用をすすめ、個別面談の充実を図る。
 - ・面接指導の徹底、進路指導室の活用を奨励し、希望の進路実現を図る。
 - ・進路ガイダンス・保護者会・各種通信文などを通して、生徒・保護者との連携を図る。
 - ・進路指導部とキャリアと連携して社会人講話などガイダンスの質を高め、進学においては大学の各種入試情報を提供し、面接や推薦入試対策の一助とする。就職においては挨拶とマナー・服装に気をつけ、コミュニケーション能力と基礎学力を身につけさせる。
- より効果的な学習指導と進路希望実現を目指します。
 - ・上位層の学力向上など模試の活用を努める。
 - ・センター試験受験者の増加を図り、国公立大学進学者数を伸ばすとともに、学校推薦就職内定率100%を目指す。

3. 生徒指導

- 全職員の指導により、基本的な生活習慣を身につけさせます。
 - ・各分掌・各年次が密接に連携をとり、徹底した指導を行うことで、学校や社会全体のルールを遵守させ、規範意識を身につけさせる。
 - ・服装や頭髪指導を各年次・分掌が一致して行い、身だしなみを整えさせる。
 - ・挨拶の励行を薦める。
 - ・自転車の安全運転指導など交通マナーの向上に努め、地域の住民に迷惑がかからないような態度を身につけさせる。
- 生徒の自主性・自治能力を高め、学校生活の活性化を図ります。
 - ・学校行事や部活動を通じて、根気強くやり抜く意思や態度、そして生徒相互の人間関係の育成を図る。また、生徒会行事がより計画的に活動できるよう情報伝達を緊密かつ迅速に行う。
 - ・生徒会役員の役割分担や担当業務を明確にするとともに、代議員が責任感とやりがいを持って取り組むよう育成する。
- 自身の健康に目を向け、主体的で健康な生活ができる力を育てます。
 - ・年間を通して定期的に保健通信を発行して、健康を守るための知識を啓蒙していく。
 - ・タバコやドラッグ、H I Vについて課題研究を行い、つたわかば祭などで発表する。
 - ・「十代の妊娠」の問題点について、LHRの時間等で学習会を開く。
 - ・教育相談と連携し、心の悩みのある生徒の指導に努める。
- 環境美化の推進に努めるとともに、「ものを大切に作る心」の育成を図ります。
 - ・清掃指導を徹底し、日常の積極的な清掃活動の推進をはかることで校内の美化に取り組む。
 - ・保健環境部と各年次とが協力して、ゴミの分別への啓蒙活動を行い、その習慣を身につけさせる。
 - ・保健環境委員会活動を通じて環境美化の活性化を図る。

4. 開かれた学校作り

- 学校への理解と信頼を深めるため、保護者・地域に向けて積極的な情報発信に努めます。
 - ・学校案内、ポスター、I V Y通信の内容、HP、保護者会等あらゆる機会を通じて情報公開・情報発信を積極的に行う。
 - ・保護者会への参加者数を増やす等により、家庭と連携を取りながら保護者との信頼関係の構築を図る。
 - ・絆ネットの生徒や保護者登録率を85%以上とし、学校行事や緊急連絡等の発信を行う。
 - ・夏季学校説明会の参加者数800人を目指すと共に、学校説明会の効果をアンケートにより確認する。
 - ・秋季学校説明会で模擬授業を取り入れ、中学生に本校への関心を高める。
 - ・生徒会会計の財務処理を明朗かつ円滑に行い、情報公開請求にも対応可能な状態にする。
- 地域の高等学校として積極的に地域とつながり、開放を図ります。
 - ・保護者の進路指導室利用を促進するために、保護者会で案内していく。
 - ・「学びのプラザ」を年間を通して開講し、受講者数の増加を目指す。
 - ・学期ごとに各年次の生徒によって、学校周辺の校外清掃を行う。

5. 学校経営品質と危機管理

- 様々な危機に対応できる体制の強化・充実に努めるとともに防災意識の醸成を図り、安全・安心な学校づくりに努めます。
 - ・東日本大震災を教訓に、生徒の安全を守るため、緊急地震速報により安全に第1次避難から第2次避難等がスムーズに実施できるようにする。

- ・各年次や分掌が連携を図り、さまざまな場面において障がいを持つ生徒等への配慮や思いやりの心の育成に努める。
- より効率のよい組織づくりに努めます。
- ・北勢地区唯一の総合学科高校として、新学習指導要領に合わせ新教育課程の編成にむけた大学入試に関する情報収集に努力する。
 - ・各年次や分掌の連携を図り、情報共有や広報活動に互いに努めるとともに、校内委員会・研修会等で意見交換をし、よりよい組織づくりに努める。
- 情報インフラの安全性を高め、セキュリティと情報管理の強化を図ります。
- ・校内ネットワーク研修会を行い、ネットワークの安定稼動と個人情報保護などの意識向上を図る。